

令和元年度 記念クラスター研究会 ～医療機器開発の将来展望～

開催報告

2019年12月3日（火）日本橋ライフサイエンスビルにて、記念クラスター研究会を開催いたしました。ものづくり企業、製販企業、臨床機関、研究機関、行政・支援機関などから、65名の方にご参加いただきました。お忙しいなかご来場いただき、ありがとうございました。

クラスター研究会

3名の講師をお招きし、医療機器開発に関する最新の動向、将来の展望を具体的な実践事例もふまえて、ご講演いただきました。

基調講演「内視鏡手術領域における医療機器開発

～どのように企業は市場価値を見抜いて医師のニーズを拾い上げるのか？～

独立行政法人国立病院機構 東京医療センター名誉院長／厚生労働省データヘルス改革推進本部顧問の松本 純夫氏より、オリンパスとの開発経験を中心に、消化器内視鏡外科領域の医療機器開発の変遷についてご講演いただきました。



会場内客席の様子



松本氏によるご講演

特別講演「内視鏡の進化と手技・機器開発について」

オリンパス株式会社 治療事業製品開発 本部長の廣岡 健児氏より、オリンパスの内視鏡の歴史、自身の開発経験についてお話いただきました。



廣岡氏によるご講演

特別講演「わが国の手術ロボットの研究開発の現状と課題」

東京大学大学院工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻 准教授の原田 香奈子氏より、手術ロボットのトレンド、実用化に向けた課題についてご講演いただきました。



原田氏によるご講演

交流会

交流会では、ご参加いただいた製販企業、ものづくり企業、行政・支援機関など、関係機関の間での名刺交換、および情報交換が活発に行われました。



交流会の様子



交流会の様子

★ご参加いただいた皆様からのご意見・ご感想★

各専門分野のトップの講師による素晴らしい講演であった。

手術ロボットに関するテーマは継続的に取り上げてほしい。

内視鏡に興味があるため、有意義な会であった。